

令和元年度 第1回在宅療養推進協議会

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に向けた意見

1 認知症専門部会（令和元年10月3日）より

【予防】

- ・少しでも認知症の進行を遅らせるような取組があれば情報共有したい。
- ・MCIや軽度の方に、健常者対象の予防プログラムや体操を進めても良いのでは。
- ・地域包括支援センターで、予防につながる地域の取組をパンフレット等で案内できると良い。

【早期対応】

- ・高齢者健康診査に認知症のチェック項目も入ると良い。
- ・ガイドブックも有効だが、地域の相談先の書かれた小さなパンフレットがあるといざというときに安心でできる。

【介護者支援】

- ・認知症の介護を経験した方々の声が、今、介護をしている方、これから介護を行う方の希望につながる場がほしい。
- ・家族が悩みを抱え込まないよう介護資源への相談やサービス活用を促進したい。
- ・中度の認知症の方や家族が困っていることを施策に落とし込んでいってほしい。

【地域の支え合い】

- ・地域での情報交換が大切。金銭の問題、防災、栄養、食生活、転倒予防等、関心のある話題を話し合える場を増やすべき。
- ・本人・家族と支援者が一緒になっていろいろなことを話し合える場、楽しめる場を作っていってほしい。

2 在宅療養専門部会（令和元年11月1日）より

【予防】

- ・高齢者のフレイル予防に摂食、嚥下機能の維持が重要。周知に力を入れてほしい。

【医療】

- ・在宅療養を支える後方支援病床の維持・確保に今後も取り組んでほしい。
- ・ポリファーマシー（多剤服用や飲み忘れによる心身への悪影響）について理解普及と対策が必要。

【介護者支援】

- ・家族介護者教室への参加者を増やす取組が必要。

【地域の支え合い】

- ・地域包括ケアシステムにおける地域の支え合いの部分のイメージを明確にし、取組の充実を図るべき。

【その他】

- ・地域包括ケアシステムとして障害者や難病の方も含めた共生を盛り込むべき。
- ・介護人材の育成と確保が重要。